

ながの環境パートナーシップ会議

令和5年度通常総会 会議記録

日 時 令和5年6月29日(木) 午後6時から7時30分まで

場 所 長野市ふれあい福祉センター 5階 大ホール

出席者 出席者数89(出席者24+委任状65 会員数132)

1 開 会 事務局長 小田切環境保全温暖化対策課長

定刻につき会員数、出席者数及び委任状の提出数が総会開催定足数を満たしているため、ながの環境パートナーシップ会議会則第25条の規定に基づき、総会は成立し開会する。

2 あいさつ 河西代表理事

コロナ禍が明けて最初の総会にご出席いただき感謝申し上げます。当会は設立されて22年目となる。アジェンダは翌年に制定され、これまで3度改正してきたが、市環境基本計画の改定に伴いアジェンダも改定したいのをお願いしたい。

環境に関する情勢は日々変化しており、コロナ禍による環境活動の制限やウクライナ戦争等によるエネルギー高騰が深刻化する一方で、企業によるCSR活動も活発となっているところである。

今後、どのようにしたらP会議が活発となるのか、建設的なご意見に期待している。

3 議長選出 赤羽副代表理事

4 議事と主な意見・質疑等

【第1号議案】

(1) 令和4年度活動報告について (事務局、各リーダーから報告)

(2) 令和4年度収支決算報告について (事務局から報告)

(3) 令和4年度監査報告について (小山監事から報告)

[主な意見など]

会 員⇒ 市民、事業者、行政の3者による活動とあるが、事業者は何を行っているか。事業者は理事にもおらず、活動報告書に記載がないので質問したい。

代表理事⇒ 各プロジェクトに参加している事業者は何社かあるが、事業者単体の活動について報告書に掲載したことはこれまでない。今後検討したい。また、理事に事業者がいないことについては今後の課題であると思っている。

会 員⇒ 事業者の活動の掲載についても検討されたい。

代表理事⇒ 事業者には会社の他にも地縁団体、学校等様々な立場があり、それぞれの立場から関わっていただいている。周知方法についても分かりやすい方法を検討したい。

会 員⇒ 会員数の個人と団体の内訳を教えてください。

事務局⇒ 令和5年4月1日時点では個人会員が115名(保険加入者数より)。その後何人か退会手続きをされているので、正式な数については名簿を確認する必要がある。

会 員⇒ 令和5年度分の保険料を3月に払っている。

事務局⇒ P会議の会計年度は6月から5月であるが、保険の期間は4月から3月。3月31日時点での会員を4月以降の保険に加入させているものである。

挙手により採決 → 賛成多数で承認

【第2号議案】

- (1) アジェンダ21ながのの改正について (事務局から説明)

挙手により採決 → 賛成多数で承認

【第3号議案】

- (1) 令和5年度運営方針(案)について (河西代表理事から説明)
(2) 令和5年度活動目標・活動計画(案)について (事務局、各チームリーダーから説明)
(3) 令和5年度収支予算(案)について (事務局から説明)

挙手により採決 → 賛成多数で承認

【第4号議案】

- (1) 会則、会費規程の改正について (事務局から説明)

[主な意見など]

会 員⇒ 令和6年2月に仮に会員資格が喪失しても、今年4月に加入したボランティア保険は令和6年3月まで継続しているということか。

事務局⇒ おっしゃる通りである。

挙手により採決 → 賛成多数で承認

【その他】

会 員⇒ コロナ前は土日に総会を開催していた。より多くの会員に出席を求めるのであれば、土日開催に戻した方がよい。

代表理事⇒ 検討したいと思うが、逆に平日夜の方が都合のいい方もいると考えている。

会 員⇒ 個人会員数とプロジェクト活動の参加者数に差があるが、会員の中でプロジェクトに参加し活動している人が少ないのではないか。この差がなるよう検討して欲しい。

5 閉 会 事務局長 小田切環境保全温暖化対策課長
閉会を宣言し、散会した。